

# 八峰コミスク通信

能登半島地震の辛いニュースが続いていますが、八峰町の小・中学校では三学期が始まり、校舎に元気な声が戻ってきました。寒さはこれから本番、インフルエンザはまだまだ油断できない状況です。予防をしっかりし、健康に過ごしたいものです

## 地域と学校の連携・協働 地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

### 冬の小・中連携地区奉仕活動 (十二月二十五日)

二学期最終日の午後、町内の二十箇所で、冬の小・中連携地区奉仕活動が行なわれました。

八峰中学校の生徒と八森小学校、峰浜小学校の五、六年生が、地域への感謝の気持ちをこめて、奉仕活動に参加しました。

前回は、雪のない日の奉仕活動でしたが、今回は、周辺に結構な量の雪が残っており、子どもたちには、地区のコミュニティセンター、お寺などの清掃や除雪に協力して取り組みました。

石川地区の正伝寺では、小・中学生が本堂内をほろくまで拭き、位牌堂の棚を拭いていただきました。また、沢目駅では、子どもたちが家から除雪道具をもつて集合し、ふれあい橋入口付近の除雪に取り組みました。その他の地区でも、清掃や除雪に取り組みました。



令和5年度  
第18号  
R6/1/15  
CSディレクター  
三浦

### チビッコ公民館 (十二月二十六日)

八森小学校と峰浜小学校の四年生二十六名が参加して、八峰町公民館主催の「チビッコ公民館」が開かれました。町の生涯学習奨励員の皆さんも参加し、四年生のお世話をしてくださりました。

最初に、ヨーヨーづくり、絵馬づくりに取り組みました。出来上がった絵馬を奉納し、願いが叶うように全員で祈願しました。

その後、「十年後の自己」という題で、自分自身へ手紙を書きました。四年生は、自分のなりたい仕事や夢など、十年後の自身の姿を想像しながら手紙を書いていました。二十歳になった時の「成人を祝う会」で手紙を読み直す機会があるそうです。

手紙を書いた後は、ユニバーサル大会で盛り上がり、昼食には、生涯学習奨励員の皆さんが作ってくれたカレーライスをおいしくいただきました。おはなしたの会かきめんの皆さんも、読み聞かせもあり、参加した四年生にとっては、冬休みの思い出に残る楽しい一日になりました。



子供たちの奉仕活動をお世話してくださった自治会の皆さん、見守ってくださった地域の皆さん、ご協力ありがとうございました。

### 子どもお楽しみ会 (十二月二十七日)

おはなしの会かきめんの皆さんが、フアガスの文化ホールで、冬の「お楽しみ会」を開いてくださいました。インフルエンザが流行している、参加できない子どもたちもいました。かきめんの皆さんも参加して、輪投げ、球入れ、缶詰みのゲームと一緒に楽しみました。参加した子どもたちには(大人にも)プレゼントが用意されていました。

最後は、「かきめん」の皆さんと一緒に、紙芝居の読み聞かせを楽しみました。午前中の短い時間でしたが、「かきめん」の皆さんとおしゃべりをしながら、楽しい時間を過ごしました。



### 冬休みの地域未来塾

八峰中学校では、冬休み中も地域未来塾が開かれました。インフルエンザの影響で、昨年末の未来塾は中止になりましたが、新年の四日から予定通り開かれました。

中学三年生にとっては、集中して勉強できる大切な冬休みです。いろいろな支援してくださる先生方もいて、勉強に集中できる環境があります。

取材した十二日も、たくさんさんの三年生が、緊張感のある雰囲気の中で、真剣に勉強に取り組んでいました。進路実現のため全力を尽くしてほしいです。

